フロアタイル/リフォルタ 框材・見切材 施工説明

■基本手順

1 環境・下地の確認 → 2 清掃・下地補修 → 3 框材のカット → 4 接着剤の選択・塗布 → 5 貼り合わせ・圧着 → 6 リフォルタの施工

■框（かまち）材

玄関などタイルの側面が横から見えてしまう場合にご使用ください。

1.環境・下地の確認

施工時の環境（湿気・温度）を確認してください。
下地がモルタル下地の場合、十分に乾燥しているかを確認してください。
※下地の水分レベルはグレードI（水分計HI-520-2のD.MODEで440未満）としてください。
合板下地の場合、釘止めで、釘頭は良く打ちこんであることを確認してください。下地のたわみや段差がないか確認してください。
砂や塵、埃等を除去し、適切な下地処理を行い、平滑でよく乾燥し、強固であることを確認してください。下地に不陸や隙間（フローリングの目地隙など）があるまま施工すると、施工後に框材の表面に不陸や隙の形状が陰影として映ることがあります。
貼り替えの場合、下地に残った接着剤はきれいに除去、または下地補修材で平滑に仕上げてください。
下地は新規もしくは施工可能な既存の上り框、床材に施工してください。

2.清掃・下地補修

砂や塵、埃等を除去し、ひびやカケがあれば、適切な下地処理を行ってください。下地に不陸や隙間がある状態で施工すると、施工後に接着不良や段差、不陸の原因となります。

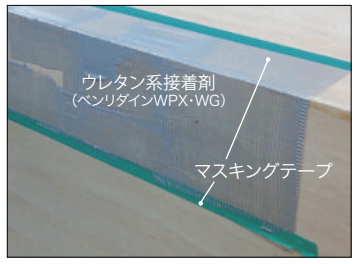
3.框材のカット

框材を施工場所に合わせてカットしてください。

4.接着剤の選択・塗布

【工法1】下地に接着剤を塗布する工法

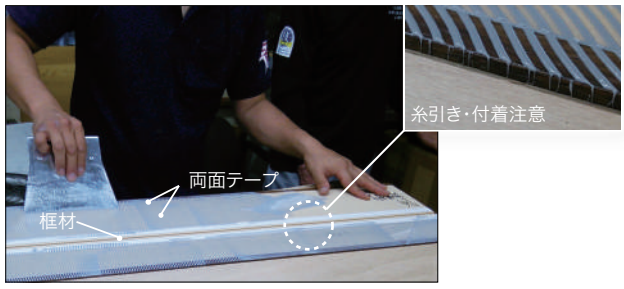
余分な箇所に接着剤がはみ出さないようにマスキングテープを貼り、接着剤を塗布します。框部分は普段の生活の中でも荷重や負荷のかかる部分ですので、より接着強度のあるWPX（BB-479・480）・WG（BB-601・602・603）を使用してください。



【工法2】框材に接着剤を塗布する工法

框材に仮止め用に両面テープを角の溝部分から少し離したところへ、溝の両側に貼ります。両面テープの離型紙に被るくらいに接着剤を塗布します。接着剤はWPX（BB-479・480）・WG（BB-601・602・603）を使用してください。また接着剤が商品の表側に付着しないよう注意してください。

＊BB-302　両面テープ



段鼻（角の部分）の補強

角に当たる段鼻部分は、特に負荷が掛かる場所ですので、工法1、2とも強度を上げるため、框材の裏面の溝に変成シリコーン樹脂系シーリング剤、変成シリコーン樹脂系または、シリル化ウレタン樹脂系接着剤を塗布してください。

＊HSシール（BB-553～555、562～564、574）
＊副資材（推奨品）　※以下の商品の同等品での施工が可能です。
セメダイン㈱　スーパーXシリーズ（変成シリコーン樹脂系接着剤）
コニシ㈱　ウルトラ多用途SUシリーズ（シリル化ウレタン樹脂系接着剤）

5.貼り合わせ・圧着

オープンタイムを取ってから、下地に框材を貼り合わせ、ローラーでよく圧着します。

6.フロアタイル/リフォルタの施工

框を先に取り付けてから「フロアタイル/リフォルタ」の施工を行います。タイル用接着剤が框材に付着しないように養生をしてください。

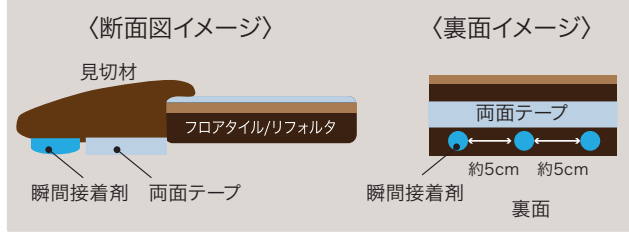
■見切材

フロアタイル/リフォルタの小口の処理にご使用ください。
※上から貼るだけで簡単に施工ができます。

①見切り材のカット
見切材を施工場所に合わせてカットしてください。

②貼り付け
裏面の両面テープの離型紙を剥がし、約5cm間隔で瞬間接着剤を塗布してください。
＊BB-546　ベンリダイン瞬間
＊BB-589　ベンリダイン瞬間ゼリー

見切材をつなげて施工する場合は、見切材の断面にも瞬間接着剤を塗布してください。
ローラーでよく圧着してください。



■注意事項

保管場所
高温場所（50℃以上）での保管は避けてください。